

水土里ネット御茶用水

御茶用水は、小松市の東部を流れる一級河川梯川を用水源として中海地内で取水し、軽海地内の三ヶ所と荒木田地内の一ヶ所で分水している。かんがい区域は、軽海、荒木田、中海の3集落65haとなる。

御茶用水が造られたのは、江戸時代延徳年間頃(1489~94)とされている。その昔、軽海村と荒木田村のかんがい飲料用水は、今の軽海用水より分岐して御殿山の下を流水していたが、幾度となく洪水により水路が破壊され水害に見舞われたため、村々の争いが絶えなかった。そこで村人達は百石谷の臼ヶ淵から御殿山の下まで掘り割り用水として築工し、御殿山の下をトンネルにした。

名称の由来は、加賀藩主2代目前田利長が領土地方巡察の折、軽梅郷本村に立ち寄り、当時の村役人宅に小休された際に、当家の主人が差し上げたお茶を大変誉められたため、住民が喜んで「お茶の水用水」と名付けたのが長く親しまれてきたものである。

用水関係工事としては、昭和36年に団体営土地改良事業で取水口付近の御茶用水頭首工をコンクリート型に改修したほか、尾小屋鉾山からの排水に含まれていたカドミウムにより汚染された土壌の復旧作業として昭和52年から58年に実施された県営公害防除特別土地改良事業「梯川流域地区」で水路を改修している。なお、このときに流路の変更も行い、軽海町の集落内を



花いっぱい運動

流れていた部分を集落の外側へと移動した。

また、受益地内には国道360号線と主要地方道金沢・小松線(加賀産業開発道路)が交差して交通の要所となっており、国道沿いでは市街化が進んでいる。

このような中、土地改良区では、御茶用水や環境に関心を持ってもらおうと、「花いっぱい運動」として地元の農家や地域の住民と共同で用水付近に花壇作りを行っているほか、農地・水・環境保全向上対策の一環として、毎年5月に用水路周辺の草刈り清掃を実施している。



住 所：小松市荒木田町又96
 設立年月日：昭和27年11月4日
 受益面積：65ha
 理事長名：山西政次
 組合員数：171名
 (平成19年12月31日現在)

編集兼：小林善隆
 発行人

金沢市古府1丁目197番地
 石川県土地改良事業団体連合会
 電話 076-249-7181

印刷所：(株)谷印刷

